

高等学校へのヒアリング概要

日時: 令和7年2月4日(火)午後4時～午後5時

対象: 高知県立高知東高等学校 2年生 4名(女子3名 男子1名)

ヒアリング方法: 対面

内容: 子育て支援課から、県で策定を進めている「高知県こども計画」の策定背景や、こどもや若者のみなさんの声を大事にして県の取組を進める事などを説明した。

まもなく進学や就職を控える高校生としての気持ちについて、下記①から④の質問を行った。

①自分の気持ちや考えは、周りに大事にされていると感じますか？

2年 女子

友達の間では自分の素を出せるけれど、大人に対しては猫をかぶっている感じで、良い子に見せようとしていると思う。ただ、思ったことは、ちゃんと言うようにしています。

2年 女子

高校は、波長のあう友達が多いので楽しいです。中学では人間関係など苦い思い出がありました。しかし、友達に自分が将来どんなことをしたいかについて話すのは苦手です。家族や親の友達に話す方が、自分を受け入れてくれているという思いがあるので、話をしやすいです。大人だとその人の経験を話してくれるので。

2年 女子

友達とはふざけ合うかんじでは気持ちを言えますが、自分が(されたりして)嫌なことについて伝えることは苦手です。

家族には話せるので、いろいろな相談をしやすいです。

2年 男子

家族や友人、家族に対して、相談事をするのが苦手なので自分からは言えていないです。ただ、自分が言わなくても、家族や友人が気づいてくれることが多いです。

②夢や希望を持って大人になるために、どんなことが必要だと思いますか。

○全員が「人との出会い」と回答。

2年 女子

人との出会いが必要だと強く思っています。人と出会うのは人生に大きな影響を与えると思うので。友人、先生、先輩など、さまざまな人との交流から新しい価値観を得られます。

何か悩んでいた、うまくいってない時にも、そうした出会いが背中を押してくれる存在にもなるので、夢を追い続ける原動力になると思います。高知の人だけではなく、東京など都会の人たちは考え方も違うと思うので、いろいろな人と交流してみたいです。

今後の進路については、県外に行くことは考えていません。近くに家族や友達がいることが自分の安心にもつながっているので、高知の専門学校に行こうと考えています。

2年 女子

人との出会いが大事だと思います。以前、講演会の際に、いろんな年代の人がいて、一つの物事を考えた時、それぞれの価値観が全然違っていました。そういう考え方があるのかと、自分にとって新しい発見になり、楽しかったです。曾分の視野がもっと広がったように感じました。人と出会って話をすることは大事だと思います。

進路については、県外に行こうと思っていますが、もし県内であっても、一人暮らしはしたいです。姉が高校時代に寮生活だったこともあり、姉は大変だと言っていました、だからこそ親の大切さが分かったとも話していました。高校に入るタイミングで寮に入りたいと思っていたのですが、進学先が変わったので今は家族と暮らしています。以前からずっと自立したいと思っています。

2年 女子

いろんな人と関わることで、別の視点からの意見をもらったり、一緒に助け合って力を伸ばせると思います。2年生になって、受験勉強に取り組む友人の姿を見て、自分も自主的に勉強にできるようになりました。周りの人の良いところを取り入れて自分自身も成長できていると思います。

今後の進学については、私も自立したくて、本当は県外の大学に行きたかったんですが、自分のなりたかった職業は私立でしか学べないということで、本当に行きたいなら自分で進学にかかるお金を工面するようにと親から言われました。現実的に考えたことに加えて、親から何かあった時にすぐに助けに行けないからということで、四国内にしてほしいと言われました。今は目指したいと思える別の大学を探そうと思っています。県内ですと入試で、高知県民なら入りやすいといった制度もあるそうなので、県内になるかもしれません。

2年 男子

部活でバドミントンをしています、男子は一人の状況です。以前、別の学校との合同試合があり、その学校の先生から「もっと人と関わった方が良い」と助言をもらいました。自分もそうしていこうと思えまして、視野が広がったように感じました。

進路に関しては、県内の大学に進学しようと思っています。HPを検索した際に、「人が育つ大学」という大学のキャッチコピーを目にして、その大学に惹かれています。

③今後も引き続き高知県で暮らしたいと思いますか。

2年 女子

高知で暮らしたいと思っています。高知は、自然が豊かで新鮮な食材に恵まれていますし、私の家の近くではボランティアも多くて、地域のつながりが強く、安心して暮らせます。都会は、混雑しており、ストレスを感じることも多いと思います。

将来は、こどもを育てたいという気持ちがあります。都会だとストレスもあり子育てが大変かもしれないですし、穏やかな環境で暮らせると思うので、高知は良いと思います。

2年 女子

子育てをしてみたいと思っていますが、子育ては、都会など中心地の方が便利で良いのではないかなと想像します。高知が嫌いというわけではないです。私が育った環境も、地域の人が温かいです。学校から帰っていると、全然知らないおばちゃんとかに「おかえり」って言ってもらえますし、地域の人が登下校を見守ってくれます。高知の環境は好きなのですが…。

今は県外で子育てがしたいと思っているのですが、将来的に高知に戻ってきてもいいなとも感じています。

2年 女子

こどもは好きです。ですが、こどもを生んだら、一人当たりにかかるお金が大きいので。

自分が将来就く仕事にもよりますが、絶対にこどもが欲しいというわけではなくて、お金に余裕があったらって感じです。

高知が嫌いではないけど、昔から県外の方に憧れを持っているので、おいしそうなお店や楽しそうなお店があるのは羨ましいなと感じます。

子育ても、高知は自然が多くて、確かにのびのびと育って暮らせると思いますが、都会なら遊ぶ場所にも困らないし、交通の面も発達してるので。

2年 男子

高知で暮らしたいです。両親が高知にいますので、何かあったときに助け合えると思うので。妹（中学生）は、県外に行きたいと言っています。将来の家族については、こどもも欲しいと思っています。親の大変さも味わってみたいです。

④より良い高知県にするために必要なことは？

2年 女子

高知は、ガソリンや、物価、家賃が他県と比べて高いと聞き、大人にとっては、しんどいことだと思います。今よりさらに物価が上がると、生活が厳しくなるだろうなと思うようになりました。

兄が神奈川に住んでいて、ストレスが多い（混雑、人間関係）と帰省の時に聞くことがあり、高知は自然がいっぱいあるからこそ落ち着ける環境だと思います。

こどもに対しては、遊び場の充実をしてほしいと思います。高知は遊ぶ施設が少なくて、「どこ行きたい？」と聞いたら、「イオン」か「街」という答えになるので、他県より遊び場の選択肢が少ないのは課題だと思います。

2年 女子

家の近くに公園がありますが、遊具の老朽化の結果、遊具が撤去されて新たなものが入らず、そのままになっていたり、遊具が減っている公園があります。活気がどんどん無くなって、暗いイメージです。自分が小学生の時は、私は携帯を持っておらず、活発な遊びをしていたので、公園はすごくキラキラした場所というか、そこに行ったらすごく楽しいみたいな感覚の場所でした。今は、こどもが集まって遊んでいる活気が足りないというか、こどもが公園にいるなと思って見ても、屋根のあるベンチでゲームをしています。

活気を取り戻すための一つの方法として、都会に住んでいて田舎暮らしをしたい人に向けて、「高知にはこういう施設がありますよ」、「こういう体験ができる場所がありますよ」というのをPRすると、移住にもつながって、もっと人が増えるんじゃないかと思います。移住者が増えると活気は戻るのではないかと。

2年 女子

高知は柏島やにこ淵など良いところもたくさんありますが、それもまだまだ知られてないと思います。県外の人で、特に都会に住んでいる人は電車を使うので、高知の交通網に困って、高知に来て行くところがあんまりないなという印象になるかもしれません。また、高知県民の温かさは、実際に高知に来て高知県民と交流した人や住んでいる人じゃないと、なかなかそれが伝わらないと思います。観光に来て欲しいのですが、多分都会の人からしたら田舎に憧れてる人しか来ようと思わないと思うんです。なので、高知の絶景スポット、おいしいもの、おすすめの訪問先を、たくさん県外の人にも知ってもらい、「実際に足を運んでみたい」って思ってもらえるような環境を作ることが大切だと思います。

2年 女子

今後、朝ドラの効果は大きいと思います。

母が牧野植物園のレストランで働いてることもあり、前回の「らんまん」の際には、駐車場が大

混雑して朝ドラ効果を実感したと話していました。ですので、次の朝ドラの効果もすごいだろうなと思っています。特に、朝ドラの視聴者は親だと思いますが、アンパンマンは子ども達が対象なので、家族旅行の増加が期待できるのではないかと思います。

2年 男子

今は昔と違ってオンラインでゲームができる時代なので、それによって家に引きこもる子もいます。地域の人たちと交流できるお祭りのようなイベントを各地域で増やしたら、もっと子ども達が外で遊ぶようになり、都会からの観光客なども来たりするのではないかと思います。

自分は、小学校の時はすごく外で遊んでいたのですが、中学校になった瞬間から、任天堂スイッチなどのゲームが発売されて、ゲームにはまりました。中学校3年間はほぼ家でゲームをして過ごし、友人ともオンラインで通話しながら遊んでいました。中学三年間のトータルのゲーム時間は4,500時間を記録して、やり切った感覚もあり、高校生になってからはゲームはしていません。